

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.57号> 2015年 11月1日 発行

ごあいさつ

立冬の声とともに、樹々は紅葉を急ぎ足元の落ち葉に残る赤みが、瞳に温かく映る 晩秋のこの頃です。

さて、またも二人の日本人学者がノーベル賞受賞の偉業を成し遂げました。1gの土中に1億個もの存在が認められる微生物から、熱帯病の特効薬とされる抗寄生虫薬イベルメクチンを開発した、生理学・医学賞の大村教授。



刈谷市議会議員

宇宙に存在する最も基本的な粒子・ニュートリノに、質量が在ることを証明した物理学賞の梶田教授。いずれもミクロの世界を丹念に究明し、日本の医学や科学の裾野の広さ・底力を世界に示すものとなりました。

一方、今東京ビックサイトで日本の技術力を競うイベント、「東京モーターショー」が一般公開されています。話題は何と言ってもITSコネクと自動運転車。次世代に向けたこの車運転技術は将来、自動車事故による多くの人の命を救うことに繋がることでしょう。

世界中で起こる紛争など負の問題をかき消し平和な社会を築く 強い牽引力を期待します。

【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

11月 3日 (火・祝)文化の日

8日 (日) 立冬

11日 (水) 介護の日

15日 (日) 七五三

19日 (木) ホン・ユル・ヌホー解禁日

23日 (月・祝) 勤労感謝の日

小雪

風も凧いだ
小春日和、各地

で菊人形展など 戸外の催しも盛んです。
日曜日の七五三には、盛装の子供達の
誇らし気な笑顔が沢山見られるでしょう。
木枯らしの前の輝く季節、紅葉狩りや
コンサート等のお出かけには、しっかりと
防寒対策をなさして下さい。

伊藤 ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



ドアを開く瞬間 出迎えてくれる甘いパンの香り…階下は気軽に選べるコーナー&テーブル、二階は洒落たカフェレスト。さて、ここはどこでしょう？



10/1発行の<No.56>の答えは、高須町の猿渡川堤防を彩る彼岸花の饗宴でした。市内高須町町内会の有志が、心を込めて整備した証は 対岸の病院からも臨めます。

“バベットの晩餐会”への招待☆

寒さも日毎に増す晩秋の夕べ、枝々の葉をさらって行く木枯らしの音…心にじんわりとした温もりの残る 映画をご紹介します。

物語の舞台は19世紀ノルウェー、ユトランド半島の片田舎。暗い海と重苦しい雲が垂れ込めるその町に、二人の美しい姉妹が敬虔な牧師の老父と清貧な生活を送っていた。それぞれに仄かな恋を経験しながらも父に仕える道を選び未婚のまま静かに年老いて行く。そんな姉妹のもとへ、パリ・コミュニケーションにより家族を亡くした女性・バベットがフランスから亡命し、家政婦として働くことに。やがて村人の信仰心の衰えを感じた姉妹は、亡き父の生誕百年を記念するささやかな晩餐会を思いつく。折りしもフランスで買った宝くじが当たり、懸賞金1万フランの全てで、バベットは贅を尽くした最高の料理でもてなした。

バベットはかつてフランスで有名なレストランのシェフだった。フランスに帰るとばかり思っていた姉妹は驚くが、また静かな元通りの生活に戻る…

CGも3Dもない映画、ひとの価値観を問う 深い慈愛に満ちた傑作です。

11月の行事予定

11月 7日 (土) 刈谷市産業まつり

8日 (日) トヨタ車体富士松工場労使イベント

14日 (土) 下り松川美化活動

15日 (日) 元刈谷インディアカ大会
ユタカ議員協議会研修会

18日 (水) ~19日(木) 市民クラブ会派行政視察

“まじめに
コツコツ、即行動”
頑張ります!!

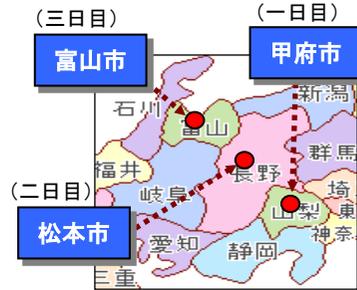


10月のフットワーク

建設水道委員会 行政視察報告

日程	視察先	視察テーマ
10月14日	甲府市	歴史公園の整備について
10月15日	松本市	次世代交通政策について
10月16日	富山市	コンパクトなまちづくりについて

【視察委員】 松永 寿(委員長) 伊藤 幸弘(副委員長)
 蜂須賀 信明(委員) 野村 武文(委員) 山崎 高晴(委員)
 外山 紘一(委員) 清水 俊安(委員) 当局2名



甲府市『歴史公園の整備について』

刈谷市は現在、亀城公園に歴史的建造物の建設を計画している。甲府市は、平成19年に史実に基づき甲府城の出入りの一つ山手御門を建設しており、敷地面積は亀城公園の1/3程度、建設費は6億円。隣接に、多目的広場と民間の商業地「甲州夢小路」を立地し、歴史と文化、観光の喚起を図って賑わいをみせている。



【刈谷市の亀城公園歴史的建造物整備計画への課題】

- 整備計画の工程表および予算計画の早期明確化が必要。
- 交流や観光に繋がる多様な組合せの整備計画の検討が必要。

【所感】 刈谷市は市駅から亀城公園までの周辺を歴史・文化・交流ゾーンとしている。そのため、まち並みづくりの整備も組み合わせ、集客力を上げる計画を急ぐべき。

松本市『次世代交通政策について』

刈谷市は、交通渋滞の対策が重要課題。松本市は、少子高齢化型の人口減少社会を背景に「健康寿命延伸都市・松本」を目指し、交通分野として、過度に自動車に依存しない、“歩いて暮らせるまちづくり”施策を推進している。バス路線など公共交通の充実、自転車通行空間の整備、パーク&ライド駐車場整備など、“車優先から人優先”にしたまちへの転換を積極的に行ない、渋滞解消、健康づくり、安全なまちの賑わいを前進させている。

【刈谷市が参考にすべき課題】

- 渋滞対策として、パーク&ライドは有効手段、導入実現に向けた検討を急ぐべき。
- 今後の社会構造の変化には、公共交通の充実を軸とした快適なまちづくりが必要。

【所感】 刈谷市はまちの特性上、“人と車の両立”を前提に渋滞解消と歩いて暮らせる安全なまちづくりを考えるべき。パーク&ライドと公共交通の充実を積極的に推進すべき。

富山市『コンパクトなまちづくりについて』

富山市は、中心市街地と公共交通の沿線に居住、商業、業務などを集約化し、ライトレールや公共バス交通を充実させて、徒歩でも移動しやすい快適なコンパクト都市を目指している。

また、中心市街地に集中投資し、まちの賑わい創出を促進させ、中心市街地以外の地域へ税の還流を図っている。



【刈谷市が参考にすべき課題】

- 地域間の連結に地域の自主運行コミュニティバス導入も検討すべき。
- 中心市街地活性化は税の還流につながり有効、思い切った再開発を進めるべき。

【所感】 将来のまちづくりを、富山市はドラスティックに推し進めている。刈谷市も「都市計画マスタープラン」で同様なまちづくりを目指しているが進捗フォローの強化が必要。

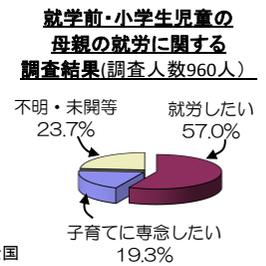
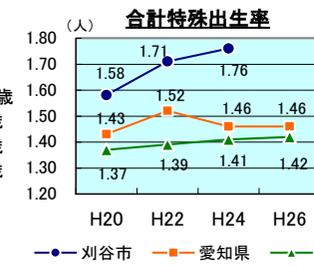
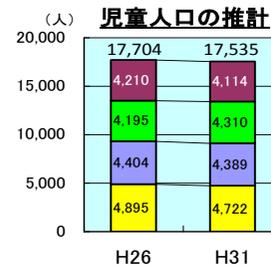
★★★ 市政ピックアップ ★★★

刈谷市 子ども・子育て支援事業計画の概要紹介

平成24年に法律制定された「子ども・子育て関連3法」を受け、刈谷市は平成25年に実施した市民ニーズ調査を踏まえ、子どもの視点に立ち、健やかな育ちと保護者の子育てを支援する環境を整備することを目的に「刈谷市 子ども・子育て支援事業計画」を策定した。



計画期間	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	刈谷市 次世代育成行動計画 (後期計画)					刈谷市 子ども子育て支援事業計画				



基本目標	1 地域における子ども・子育て支援			2 仕事と子育ての両立支援			3 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		
	①	多様な子ども・子育て支援サービスの提供	多様な保育サービスの充実	妊娠・出産への支援					
②	幼児教育・保育の充実	放課後児童クラブの充実	子どもの成長・発達への支援						
③	児童館運営の充実	男女が協力して行う子育ての推進	小児医療体制の充実						
④	交流子育てネットワークの充実								
⑤	子育てサービス利用者支援体制の構築								
基本目標	4 支援が必要な子ども・家庭への支援			5 子どもがのびのびと育つ教育環境づくり			6 子どもにやさしいまちづくり		
①	障害のある子どもへの支援	生きる力を育てる学校教育の推進	子育てを支援する都市環境の整備						
②	児童虐待防止対策の充実	子どもに寄り添った支援の充実	安全・安心なまちづくり						
③	ひとり親家庭への支援	開かれた学校づくりの推進	遊び場の確保						
④	経済的負担の軽減	地域で多様な経験や価値観を学ぶ場づくり							

刈谷市の合計特殊出生率は高いレベルにあるものの、児童人口は減少傾向にある。子育ての母親からは、子育てしながらも安心して就労したいニーズは高く、その環境づくりに応える施策の充実強化を今後も重点に取り組んでいかなければならない。